

令和7年度特別の教育課程の自己評価結果について

中泊町立武田小学校

本校は、中泊町教育委員会が掲げる「中泊町教育イノベーションプロジェクト」の1つとして、メタバースを活用した英語学習に取り組んでいます。

教育イノベーションプロジェクトとは、20年後を見据えた新教育として、町が重要視している施策の一つです。

昨年度、教育課程特例校を申請し、3年生以上で週1時間のグローバル科を新設しました。グローバル科とは、メタバースを活用したオンライン英語学習を行う科目のことで、週2時間(年間70時間)の総合的な学習の時間から週1時間(年間35時間)を減じてグローバル科の時数としています。

<本年度の主な取組・成果>

①ネイティブスピーカーとの少人数レッスン

一人の講師につき2または3人グループで参加したため、直接発音を聞いてもらえたり、声をかけられたりできたことで、積極的に活動できる子が増えました。

②phonicsをレッスンに導入

文字と音声の関係性を学ぶ音声学習法であるphonicsを導入することで、発音が良くなったり、活動に自信をもったりする子が出てきました。

③ライブツアーや国際交流などの交流体験

実際に目の前に広がる外国の光景に驚くと共に、つたない英語であっても相手に伝わる喜びを感じたり、さらに詳しく知りたいと思ったりする子が出てきました。

④外国語科や外国語活動の時間での学習内容との関連性の強化

メタバース英語で使われている英単語や構文については、担当者と連絡を取り合いながら、子どもたちにとって負担がかかりすぎないように進めたことで意欲をなくすことなく学習を継続できました。

⑤スピーキングテストの実施

子どもたち一人一人の英会話の能力を、講師との会話を通し、点数化して評価しています。

<今後の課題・展望>

①保護者への情報発信の取り組み

メタバース学習の自由参観日を設定したものの、参観に来てくださった家庭が数件しかなかったため、より参加して下さりやすい方法を検討したいと思います。

②児童の英会話能力の評価

児童一人一人の英会話能力の評価が、講師の主観によるところが大きく、客観性に欠けるため、来年度からはAIを活用した評価に変更になるということです。

今年度は、外国語課や外国語活動と並行して英語に特化した学習活動を行うことで、子どもたちのコミュニケーション能力を大きく向上できました。今後も更なるレベルアップを図るべく、日々の指導に努めていきたいと考えています。